

ニュースレター37号【防災学術連携体】2023/12/26

・防災学術連携体は日本学術会議を要に62の会員学協会が集まり、皆様の絶大なご支援を受けて甚大な災害の起きない日本を求めて活動しております。ここに本年の活動の報告と来年の活動をお知らせいたします。

・ホームページ (<https://janet-dr.com/>) に多くの情報を載せています。市民と学会の交流、学会間、日本学術会議、府省庁などの交流・連携活動などに活用してください。

・ホームページの中にこれまでの貴重な講演動画をアーカイブしています。「講演動画」のボタンをクリックし、検索（虫眼鏡）の欄に「講演者、技術用語など」を入力すると、関係する動画を探すことができます。皆様のご活用を期待いたします。

1) 市民へのメッセージ「2023 年夏秋の気象災害に備えましょう」(2023/06/12)

地球環境の変化により顕著な天候が現れやすくなっているため、夏から秋にかけての気象災害への備えを呼びかけ記者説明を行いました。

https://janet-dr.com/070_seimei/071_seimei230612.html

2) 日本学術会議公開シンポジウム／第16回防災学術連携シンポジウム

「関東大震災100年と防災減災科学」を開催しました(2023/07/08)

https://janet-dr.com/060_event/20230708.html 参加者：1253名

3) 冊子「関東大震災100年と防災減災科学」を発行しました(2023/07/08)

第16回防災学術連携シンポジウム開催と合わせ、防災学術連携体会員の皆様からの寄稿を集めて冊子を発行しました。

https://janet-dr.com/090_abroadandhome/KantohEQ100th_book_A4.pdf

4) 一般社団法人防災学術連携体(2023年度)総会を開催しました(2023/07/25)

オンラインにて2023年6月総会を開催し、議案の審議と事業に関する報告等を行いました。

5) 第5回府省庁連絡会「防災減災を担う人材をどう育成するか」を開催しました(2023/08/08)

日本は多くの災害の脅威にさらされており、防災・減災を担う人材育成が喫緊の課題となっています。例えば、多様なハザードを理解できる総合力のある人材、行政における防災の専門家、低頻度な災害の専門家などの育成です。国際的な人材育成も必要です。学協会においては、各専門で培った科学的知見をわかりやすく発信することや、政府・自治体と連携して人材教育に寄与することが求められています。この連絡会では、府省庁と学協会における人材育成の取り組みを発表し、次世代の防災・減災の担い手について議論しました。

https://janet-dr.com/060_event/20230808.html 参加者：37名(府省庁)、86名(学協会)

6) 防災推進国民大会2023セッション・日本学術会議公開シンポジウム・第17回防災学術連携シンポジウム

「防災科学からみた関東大震災の回顧と展望」を開催しました(2023/09/17)

2023年7月8日の学術フォーラム「関東大震災100年と防災減災科学」での知見を整理しつつ、地震・地震動、都市計画、災害医療、情報・社会の4つの観点で、学協会の枠を超えた情報共有を行いました。

https://janet-dr.com/060_event/20230917.html 参加者：483名

7) 第18回防災学術連携シンポジウム「人口減少社会と防災減災」(2024/03/25 予定)

人口減少下において持続可能な社会を実現するためには、社会、環境、経済の視点からの対策に加えて、防災減災のあらゆる仕組みの検討が不可欠です。例えば、高度成長期に集中的に整備された多くのインフラが老朽化する中で、気候変動等による災害の激甚化・頻発化を受けて、耐災害性の強化が求められている。政府の予算が限られる中で、国土・都市計画では、コンパクト&ネットワークで、居住地を集約して維持すべき地域を選ぶ提案をしています。災害の危険性の少ない場所へのコンパクト化が理想ですが、実現には大きな課題が山積しています。今後、広範囲な被災が想定される南海トラフ地震においては、東日本大震災後のような大規模な復旧工事の再現は難しいです。人口減少による社会変化や長期的な防災施設の維持管理を考えた上での復旧計画が望ましいですが、その検討はまだこれからです。人口が減少する中で、被災した過疎地域の復旧のあり方も大きな課題となっています。さらに、人口減少下で防災減災を担う人材の育成が急務である。高齢化が進む中で、被災者支援の担い手不足も指摘されています。防災施設の基準や運用の見直しなども求められています。

人口減少社会における防災減災のあり方について、多様な視点から各学協会（発表者個人の意見でも良い）に自由に発表いただき、総合的に議論したいと思います。（現在会員学協会にて発表内容を検討中。プログラム詳細が決まり次第、お知らせします。）

8) WEB 研究会とアーカイブス（継続と蓄積）

会員学協会の防災連携委員と学識会員を対象に、テーマを決めた WEB 研究会を継続的に開催し学会間の情報交流と相互理解を進めています。最先端の分かりやすい話題があり講演動画をホームページ上に載せて一般公開しております、是非ご視聴下さい。

https://janet-dr.com/071_webSG/071_webSG.html

9) 会員、特別会員、学識会員の紹介

防災学術連携体の活動は59の会員（学会）、3つの特別会員（協会）および30名の学識会員によって進められています。

https://janet-dr.com/010_about/015_about/issha/02_now_seikaiin.pdf

https://janet-dr.com/010_about/015_about/issha/04_now_tokubetsukaiin.pdf

https://janet-dr.com/010_about/015_about/issha/03_now_gakushikikaiin.pdf

防災学術連携体幹事・代表幹事 森本章倫（早稲田大学教授、日本都市計画学会会長）
代表幹事 米田雅子（東京工業大学特任教授、前・日本学術会議会員・第三部副部長）
幹事・事務局長 田村和夫（日本学術会議連携会員）

防災学術連携体事務局 website@janet-dr.com
担当：麓 絵理子（フモト エリコ）、小野口弘美（オノグチ ヒロミ）
・ニュースレターの配信依頼、配信解除もここにご連絡下さい